

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

april 2013

年4回(1・4・7・10月)発行

2013年度に向けて



千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」

(公社)千葉県サッカー協会審判委員長 大石 康

冬の厳しい寒さも和らぎはじめ暖かな春を迎えた今日この頃、皆さまにおかれましてはますますご健勝のことと存じます。

私事になりますが、東日本大震災から丸2年、何か自分にできないかと自問しながらも毎日の忙しさに追われていたが、先日ようやく被災地へ行くことができました。多くの被災地が復興していく中で、私が行った南三陸町や気仙沼市では、瓦礫こそ片付けられて(山積みされて)はいるものの、その被害の大きさに言葉を失いました。きっと大震災直後の現地では、想像もつかない大変さだったと思います。時間が経過した今でも実際に行ってみると、まだまだ復興が進んでいない現状を見せられて、今後も何らかの形で復興に関われないか、改めて考えさせられました。今回は現地で復興を目指し頑張っている方々や、いまだに被災地で御苦労なさっている方々がたくさんいることを自分の中で確認できただけでも、行ってきて良かったと思います。同時に、この千葉の地で好きなサッカーに関われることに感謝しなければいけなと、再確認いたしました。

4月になり、皆さまの中には就職・入学・転職・転勤など、この春から新たな環境で生活をスタートされている方もいることでしょう。どんな人にとっても年度初めというのは、新たな目標に向かって頑張れる時(チャンス)だと思います。私が委員長になってから早いもので2年が経ちます。この2年間でどれだけのことができたか甚だ疑問ではありますが、いつでも前向きに頑張れる一年が送れるように、審判委員会のメンバーと共に千葉県審判員の皆さまのために頑張っていこうと思います。

日頃より審判活動にご理解・ご協力をいただいている皆さま、これから始まる2013年度でも現状に満足することなく、より素晴らしいレフェリングを目指して日々の努力を重ね、審判員という立場で千葉県サッカー界を支えていきましょう。

目次

委員長挨拶	1	新規資格認定講習会・各講習会の申込みについて	6~7
2013・14年度 審判委員会組織図	2	各部研修会だより	8~14
各部より・事業計画	3~4	郡市協会だより	15
【特別企画】突撃！サッカー協会	5~6	ワンポイントレッスン・お詫び	16

2013・14年度 審判委員会組織図

【委員長】			大石 康	
【副委員長】			中間敏雄 高山克彦	
●普及部●	【部長】	高須賀清司	【部員】	稲葉太郎、吳羽忠彦、篠塚 泉、真殿定幸、高萩 守、高山克彦、都間雅彦、矢作政美、山下良之、渡辺芳敏
	【副部長】	榊原晴彦		
●育成部●	【部長】	右田智也	【事務局】	野崎克哉、中間敏雄 五十嵐泰之、大川直也、櫻田雅裕、
	【副部長】	稲葉太郎	【部員】	岡田滋、高須賀清司、田山敦士、木原裕之、曲山光昭
●強化部●	【部長】	堀川栄多	【部員】	牛尾眞一郎、柿沼輝信、今武司、菅原英雄、中村 敦、高須賀清司、野口豪志、曲山光昭、吉野幸雄
	【副部長】	田山敦士		
●女子部●	【部長】	穴浦智子	【部員】	吉田伸子、松岡恵美子、小林隆子、遠藤かおり、彦坂由樹子、福井裕子、谷口收正、都間雅彦、都間その子
	【副部長】	木川 綾		
●フットサル・ビーチサッカー部●	【部長】	五十川和也	【部員】	遠藤光男、櫻田雅裕、藤崎翔平
	【副部長】	金子一博		
●インストラクター部●	【部長】	岡田 滋	【部員】	並木克之、高橋 勲、山中吉一、稲葉太郎、榊原晴彦、右田智也、牛尾眞一郎
	【副部長】	栗澤淳一、中村 敦		
●競技部●	【部長】	吉野幸雄	【部員】	中間敏雄、山中吉一、野口豪志、遠藤かおり
●財務部●	【部長】	櫻田雅裕	【部員】	
	【副部長】	高山克彦		
●総務部●	【部長】	木川 綾	【部員】	渡辺芳敏、大西正一、菅原英雄、村上匡、伊藤欽一、鈴木悠介、彦坂泰二
	【副部長】	櫻田雅裕、福井裕子		
●種別担当●	1種	河瀬 淳		
	2種	河合英治		
	3種	土屋 剛		
	4種	並木克之		
	女子			
	フットサル			

各部よりご挨拶～今年度もよろしくお願ひ致します～

●○育成部より○●

育成部は強化部、普及部、競技部、インストラクター部、女子部及び各種別審判部と協力をし、県内で主催するU-18大会等を利用し、審判員の技術向上とユース及び若手審判員を広く育成すること、また、郡市で活躍されるお父さん及びお母さんのシニアレフェリーの審判活動の向上を活動目標としております。

審判員宿泊研修活動予定は、8月下旬に「第9回ユース及び若手審判員宿泊研修」を、11月中旬に「第9回シニア審判員宿泊研修」を、2月中旬に強化部と合同で「公募のレフェリースクール」予定しております。その他にプリンスリーグを利用して大学生・若手審判員の副審登用。全日本少年全国大会へのユース審判員派遣。ユース・若手審判員のための競技規則勉強会を予定しております。

●○強化部より○●

堀川 栄多

強化部では、今年度も育成・普及・競技・インストラクターの各部署と連携を密に図りつつ、所属審判員の技量向上を目的に活動していきます。主な活動予定はこれまで月例で開催していた研修会を隔月とし、新たに中堅～ベテランを対象とした実技研修を計画しています。また、公募型の実技研修(レフェリースクール)も予定していますので、幅広い方々のご参加をお待ちしています。関東強化審判員に対してはインストラクター部の全面的な協力のもと、県内で行われるプリンスリーグを中心とした日常的な指導、秋の強化宿泊研修を通じてカテゴリーの昇格、更には1級への昇級を目指していきます。なお、昨年に続き関東協会の1級候補者を千葉県から輩出できなかったことを重く受け止め、我々スタッフが危機感をもって彼らの奮起を促していくよう考えています。また、若い方々に対しては判定技能だけでなく社会性や人間性についても審判活動を通じて一緒に成長できるように取り組んでいきたいと考えています。“競技者のために審判が頑張る!!”のと同じように我々スタッフも審判員の皆さんのために精一杯頑張りますので今年度もどうぞよろしくお願ひ致します。

最後になりましたが新シーズンも皆さんが健康でケガをせず審判活動に励んでいただき、昨年以上に活躍されることを心より願っています。また、県内審判の強化に関わる事案について、ご意見・ご要望がございましたら堀川(e.horikawa@jcom.home.ne.jp)までお寄せ下さい。

【関東強化審判員】(敬称略)

カテゴリーA: 松田卓磨, 石原美彦

カテゴリーB: 萩原誠

カテゴリーC: 村上匡(強化)

鈴木悠介, 竹中健太,

太田光俊, 鈴木俊介

地域トピ: 中島智広



山岸佐知子氏オリンピック報告会(H24.9)

●○インストラクター部より○●

岡田 滋

◆インストラクター部2013年度の重点事項

○アセッサー派遣の充実(年間)

○新規取得・実技・講義講習会等へのインストラクター派遣(年間)

○研修会等によるインストラクターの指導力の向上(研修会3回他)

インストラクター部では、関東の強化審判員や県内主要大会の準決勝・決勝戦及び社会人、大学等のリーグ戦などへのアセッサー派遣に重点的に取り組んでいます。今年度についても、出来るだけ多くの試合にアセッサーを派遣し、審判員のレベルアップを図っていきたくと思っています。また、アセッサー派遣と並行して、各郡市協会等で実施される講習会へインストラクターを派遣します。そうしたアセッサーやインストラクターの派遣に当たっては、まずは県内のインストラクターのレベルアップを図る必要があります。そのため、年3回の研修会や個別の指導を通じて、インストラクターの指導力の向上を図っていきたくと思っています。審判員の皆さん、そしてインストラクターの皆さん今年度もよろしくお願ひいたします。

各部の事業計画

【普及部】

2013年

《サッカー4級審判員認定講習会》

4月7日(日)・5月11日(土)・5月26日(日)・7月14日(日)・8月4日(日) (※すべて千葉県スポーツ科学センター)

《サッカー2級審判員昇級審査認定推薦審査及びサッカー3級審判員昇級認定審査》

4月14日(日) (成田市中台運動公園 体育館・陸上競技場)

10月13日(日) (野田市総合公園 体育館・陸上競技場)

《4級審判員更新講習会》

9月15日(日) (千葉県スポーツ科学センター)

《4級・3級審判員更新講習会》

12月15日(日) (千葉県スポーツ科学センター)

《新3級審判員実技研修会》

5月～6月予定・11月～12月予定

2014年

《サッカー4級審判員認定講習会》(2015年度前倒し)

1月19日(日)・2月11日(火)・3月16日(日)・3月23日(日) (※すべて千葉県スポーツ科学センター)

《4級・3級審判員観戦更新研修講習会》

2月予定

《4級・3級審判員更新講習会(夜間)》

2月23日(日) (千葉県スポーツ科学センター)

【育成部】

8月上旬 ユース及び若手審判員宿泊研修会

11月中旬 シニア審判員宿泊研修会

2月中旬 【公募】レフェリースクール(強化部と合同)

【強化部】

隔月 カテゴリー研修

8月中旬、10月下旬 強化宿泊研修会

2月下旬 公募型レフェリースクール

6月、12月 ミニ研修会

【女子部】

8月 強化研修会(香取)

10月～11月 初心者研修会(茜浜)

2月 強化研修会(船橋)

3月 新規取得講習会(千葉)



【フットサル・ビーチサッカー部】

3月、4月、6月、8月、10月、12月、2月 県Fリーグ担当審判研修会(カテ研)

5月、7月、9月、11月、1月 フォローUP研修会

10月、12月、2月 F3/F4級更新講習会

6月 ビーチサッカー研修会

11月 F3級インストラクター研修会

特別企画！！

(公社)千葉県サッカー協会

公益社団法人 千葉県サッカー協会

ってどんなところ??



皆さん、千葉県サッカー協会に所属していますよね？皆さん、千葉県サッカー協会の試合に参加していますよね？そんな皆さんがお世話になっている千葉県サッカー協会について、知らない人や知らないことも多いかと思います。そ・こ・で！！皆さんを代表して、千葉県サッカー協会へ突撃してきました！！

千葉駅から歩くこと数分、千葉市美術館のすぐ裏手のビルの4階に千葉県サッカー協会はあります。広大な敷地…！と思っている方もいるかと思いますが、約60㎡のフロアは私の足で16歩。ゴールマウス約3つ分の大きさの中に6名の方が日々私達の為に汗水流し頑張ってくれているのです。



●では最初に、その6名のご紹介から参りましょう。
(左上から時計回りに)家族経営の従業員を経て2004年から早10年、名前を知っている方も多いのでは？高山克彦さん。入社は2011年で今年は3年目、それまでは営業職をしていたという協会のプリンス鈴木拓真さん。事務局立ち上げ時から18年目という一番の協会歴を持つ、事務局長の中西聡太さん。2009年に入社して今年で5年、それまでは順大生として学連で活動していた皆のアイドル千葉のミキティこと石川未希さん。そんなみんなのボス！協会に来て12年、理事長を経て22年は公務員

からの転職、専務理事を務める中臺由紀夫さん。皆さんとってもイ人です！！

そして忘れてはいけないのが裸足の審判員、審判担当の櫻田雅裕さん。『正式には2013年度から協会にお世話になります。』とのこと。

●まず、千葉県サッカー協会は何をしているところですか？

—各種登録全般、各種別委員会や専門委員会の活動のフォロー、グラウンドの確保や一般の方々からの問い合わせ対応などもしています。他には理事会や総会の準備、HPや広報なども行います。

高山さん：経理担当です。今まで行っていた審判担当は櫻田さんに譲りました。

鈴木さん：指導者・キッズ・フェスティバル関係の運営全般を担当しています。

中西さん：大会運営の全般を担当しています。

石川さん：選手登録・HPの更新・物品販売・ちばぎんカップや天皇杯のチケット販売・チームの海外遠征の申請なども担当しています。

専務理事：総務・経理・各種問い合わせなど、総括をします。その中でも審判員関係は登録が個人単位になるため、問い合わせの対応は大変です。

櫻田さん：フットサル・審判・経理を担当しています。



ちなみに…

千葉県の審判員総数は約9600人。選手登録はサッカーが約47000人、フットサルが約2500人。指導者は約3800人だそうです。審判員の約9600人は47都道府県の中で第7位、女性審判員は438人で6位の多さだとか。

●1日にどれくらい電話が鳴りますか？また、どんな問い合わせが多いですか？
—1日に50件くらい？石川さんが1日に30件くらいで1番電話をとっています。審判関係の問い合わせだとパスワードの再発行や、直近の講習会、キックオフの

推奨環境などが多いです。皆さんパスワードだけは失くさないようにしてください。また、更新は早めに行ってくださいね。

《上記の解決方法》

*パスワードの再発行は、県協会のHPの各種申請書式から審判パスワードの書類をダウンロードし必要事項を記載したものを、指定の口座に再発行手数料を振り込んだ振り込み用紙と審判証を貼り付け県協会までFAXして下さい。

*講習会に関しては、公開のものはキックオフサイト、各郡市協会主催で非公開のものは各郡市協会に問い合わせてください。

*推奨環境はキックオフサイトのTOPページから確認できます。

また、審判証の再発行はキックオフサイトから審判登録番号とパスワードにてログインして手続きができます。
 なお、キックオフサイトはスマートフォンからは操作できませんので、PCからお願いします。

○●最後に中臺専務理事より●○

大会数が増えているのに会場がないので確保に大変です。審判関係では、ユースの審判員が審判をやりやすい環境をみんなで作りましょう。皆さん、何でもいいのでご相談ください。気軽に協会にも遊びに来てください。



3月31日をもって中臺専務理事は大野辰巳さんへとその職を交代いたしました。お疲れ様でした！！
 そして、大野さん宜しくお願致します！！

《2013年度・新規資格認定講習会のお知らせ》



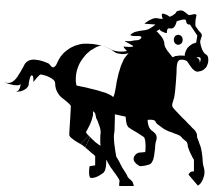
(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、審判委員会ホームページ及び『Kick off』でご確認下さい。【申込方法・注意事項もご参照下さい。】

【サッカー】

開催日	講習時間	会場	最寄り駅	募集人数	講習会費
4月7日(日)	10:00~16:30 (受付9:30~10:00)	千葉県スポーツ科学センター	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンター 駅」徒歩10分	160名	一般: ¥7,050 ユース: ¥1,000
5月11日(土)	10:00~16:30 (受付9:30~10:00)	千葉県スポーツ科学センター	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンター 駅」徒歩10分	160名	一般: ¥7,050 ユース: ¥1,000
5月26日(日)	10:00~16:30 (受付9:30~10:00)	千葉県スポーツ科学センター	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンター 駅」徒歩10分	160名	一般: ¥7,050 ユース: ¥1,000
7月14日(日)	10:00~16:30 (受付9:30~10:00)	千葉県スポーツ科学センター	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンター 駅」徒歩10分	160名	一般: ¥7,050 ユース: ¥1,000

【フットサル】

開催日	講習時間	会場	最寄り駅	募集人数	講習会費
4月7日(日)	10:00~17:00 (受付9:30~10:00)	千葉県スポーツ科学センター	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンター 駅」徒歩10分	30名	一般: ¥8,050 ユース: ¥1,000
5月12日(日)	10:00~17:00 (受付9:30~10:00)	千葉県スポーツ科学センター	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンター 駅」徒歩10分	30名	一般: ¥8,050 ユース: ¥1,000
6月30日(日)	10:00~17:00 (受付9:30~10:00)	千葉県スポーツ科学センター	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンター 駅」徒歩10分	30名	一般: ¥8,050 ユース: ¥1,000





各部研修会だより

各部よりぞくぞくと届いた研修会だより。1月号でお送りできなかったシニア研修会の様子よりご案内致します！



第8回シニア研修会



古館 智史

松戸市在住の古館と申します。昨年このシニア審判研修に参加させて頂き今回2回目の参加となります。今回の研修、まず実技面では1日目のU-11の8人制の大会、2日目のU-15の練習試合を使わせて頂いてのレフェリング。8人制サッカーは1人審判制なので、目の前のプレーの監視、両チームのオフサイドラインの確認、タッチライン、ゴールラインを割るのかなど、常にいろいろな情報を頭に入れながら動きジャッジしていかなければならないので、とてもよい訓練になりました。またどの試合もインストラクターからのたくさんのアドバイスを受けられるので、自分の長所、短所を確認でき、今後の審判活動に生かして行きたいと思いました。

次に知識面では、1日目の夜の映像を使ってオフサイドの事象を見てからのグループディスカッション、2日目の午後のフリーキックの際起こりうるいろいろな事象の主審、副審の対応の実践トレーニング。これらのプログラムで、普段あまり起きない事象を疑似体験できるので、知識の引き出しが増えました。

そしてメンタル面では1日目の夜の懇親会で、シニア審判員の皆さんとのたくさんのお話で得られました。特に大石委員長の「この試合は俺の試合だ！！」という内容のお話はとても感動し、今でも心に残っております。また皆さんの体験を聞くことにより、私の気持ちも強くなった気がします。技、知識、メンタルが鍛えられ、しかも楽しくそして仲間も増える。こんなに素晴らしい研修会はなかなかないと思います。シニア審判員の皆様、今度のシニア研修会には是非参加してみても如何でしょうか。最後に、2日間お世話になったスタッフの皆様、参加されたシニア審判員の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。



川崎 剛司

2日間にわたり、シニア審判員宿泊研修にてインストラクターの皆様には大変お世話になりました。1日目は、8人制サッカー審判員の実技、2日目は11人制の審判技術研修の後にプラクティカル研修があり、大変有意義で中身の濃い研修会でした。8人制はほとんど初めての体験でしたが、オフサイドを判定するため11人制にも増してプレイの先読みが必要となることから、とてもよい訓練になりました。

夜は宿舎において競技規則の筆記試験の後、最新のDVDによる映像やルール解説等の講義をしていただきました。筆記試験は改めて自分が競技規則のどこが理解できていないかを認識できましたし、DVDによる講義も普段では体験できないもので大変有意義でした。今回シニア審判員宿泊研修を初めて参加させていただきましたが、あらためて審判員として必要なことを教えていただいたと思います。この研修を忘れることなく、審判活動に励みたいと思います。両日とも天候にめぐまれ、またケガ人もなく全員が無事に研修を終えることができました。

相川 卓也

一日だけの参加になってしまいましたので、少々物足りない気持ちではありますが審判活動だけで、朝から晩まで丸一日をすごした経験はいままでありませんでした。また、U-11、8人制の一人審判を経験させていただいたのは自分にはかなりの収穫となり、あらためてポジションや予測の重要性を再認識させていただきました。ただ自分に余裕がないためか、慌ただしい1日でしたのでもう少し仲間のレフェリングの見学やジャッジに対しての意見等をもらう反省会の時間がありましたらもっと充実感を味わえたと思います(勝手なことを言い申し訳ありません。)しかし、この日は間違いなくスキルアップにつながりました。

これからも審判活動に自分が走れる限り、精進いたします。最後に、研修会の間を用意してくださいましたスタッフの皆様、大会関係者、選手、指導者、サポーターの皆さんそして一緒に学んだ仲間の皆さん、ありがとうございました。

木内 宏二

11月3日4日に「シニア研修」を受講しました。・何故私がシニア研修を受講したのか。・受講の感想を紹介します。まず私のサッカー歴と審判歴を紹介します。私がサッカーを始めたのは、1971年、18歳の時です。23歳からは市原の企業に就職し52歳まで、市原リーグでサッカーを楽しんでいました。53歳の時、市原市サッカー協会の方に審判を勧められ、4級を取得し、市原市リーグ、および市原市サッカー協会が主催する試合の審判(主審・副審)をしていました。55歳の時、先輩審判から「3級に挑戦してみなさい」と勧められ、3級を取得し 60歳になった今日まで審判活動を続けてきました。

1. 何故、今回シニア研修を受講したのか

3級取得後、サッカー審判の割り当てを受け、U-15、県大学リーグ、県社会人リーグの審判をしていました。その中で、「自分の行っている方法で良いのか」という疑問がいくつか出てきました。例を紹介すると主審は、「争点の近くに寄り判断する」のが原則であるが、それが出来ない時もある。…皆はどのような工夫をしているのか？アシスタントレフェリーは、自分の近くに「争点」がある場合、「争点」と「オフサイドライン」を同時に監視する為、どのような方法をとっているか？・自分より、足の速い選手たちの、「オフサイド判定」をする時、「オフサイドラインに置き去りにされない為に」どのような方法をとっているのか？・自分のフラッグサインは、主審や選手・観客に分かりやすいサインになっているだろうか？上記の様な疑問を持っていました、また試合毎に、他の審判から、自分の「審判技術」の未熟な点を指摘して頂きました。審判技術を向上させるには、実技を通して、指摘を受ける回数を増やすことが良い方法であると考え、シニア研修会に参加しました。



2. 研修

今回の2日間の研修会は1日目：①8人制サッカーの審判を一人4試合行い、各試合毎にインストラクターから、「良い点」「改善点」を指摘して頂きました。②16時～17時の間、研修会参加者とインストラクター、大石委員長をまじえ、2組に分かれサッカー試合。…楽しかった。

夜間研修：①Jリーグの試合ビデオを使い、判定テクニックの勉強会。②先輩審判の失敗事例、対処方法も沢山聞くことができました。

2日目：①練習試合(11人制サッカー)の審判を一人につき、2試合行いました。ここでもインストラクターから、「良い点」「改善点」を指摘して頂きました。②判定事例勉強会をおこないました。(ゴール前の攻撃側フリーキックから、起こりうる守備側の反則とその反則に対する判定の勉強会でした)

3. 感想

実技を通じ、自分の「判定」「シグナル」を、インストラクターに見て頂くことにより、良い点(伸ばすべき長所)と改善点、が分かりました。私の場合は「主審として、動きがまだ足りない」「センターサークル付近で、プレーの妨げになることがあったので、位置取りを考えなさい」とのアドバイスを頂きました。自分で「良い」と思っていた「審判方法」も、客観的にみれば、「独りよがりの審判方法」となっていました。これから、3級を取得し、県U-15、県社会人リーグ、県大学リーグへの審判デビューを目指す、4級審判の方、2級取得を目指す3級審判の方、次回の研修にぜひ参加ください。シニア研修の「シニア」に拘わる必要は無いと思います。自分の「良い点」、「改善点」を早い時期に知ることが、自分の「審判レベル」を上げることになります。

4. 最後にインストラクターの皆様 ご指導ありがとうございました。

宍戸通浩

今回初めてシニア研修に参加させて頂いた市川の宍戸です。今年の4月に3級に昇級し4級からのレベルアップを目指し参加しました。都合により二日目ですが、当日は副審を二試合行いました。1試合目は前半A2/後半A1を行いミーティングの大切さと競技規則に沿った対応の重要性を教えて頂きました。2試合目は20分1本のA2でしたが、その試合をすべて正対で行う事が課題に出され可能な限り正対で副審を行いました。

膝が悲鳴を上げる直前でしたが、正対の重要性を改めて再確認することが出来ました。且つ、日頃のトレーニングの必然性を感じる事が出来ました。副審時の正対からダッシュもカンガルーステップを教えて頂きました。直ぐには出来ませんが、今後使いこなせるようにしていきたいと思っています。

プラクティカルトレーニングも初めて行いました。通常の試合の中で発生する疑問は、試合が流れているのでゆっくり考える事が出来ません。試合の中で思う疑問もトレーニングの中で思い出しインストラクターの方々質問等を行う事が出来、且つ、インストラクターの方々の素早い対応により疑問を持ち帰る事無くスッキリと解決することが出来ました。指導を頂いたスタッフの方々、ありがとうございました。来年も都合が合えば参加し勉強して行きたいと思っています。

清水 俊行

まずは、主催・運営に携わって頂いたスタッフの方々に御礼を申し上げます。シニアであるが故に本当に有意義な機会であり、又モチベーション高揚の一助として参加を続けています。今年は所用にて初日のみの日帰りコースでした。U-11の8人制一人審判の実践、そして参加者、スタッフ合同でのフルコートゲーム。緊張、集中、そしてオッサンらしい笑いアリの充実した一日でした。

①8人制一人審判にて

昨年に引き続けているわけで要領は掴めているはず。アシスタント審判とのシークレットサイン(ボールアウト時の方向指示、オフサイド、等)もしっかりと。ペアで組んだ先輩とのワンシーン:「オフサイド時は体の正面で、人差し指で上を指して下さい。」⇒「了解。」さて、完璧に見切ったオフサイドの確認をと先輩を見ると、何と！逆光のその後光の中でまるで仏様のような姿…(何故か片手による合掌に見え…高津先輩、やはり貴方は偉大です)



※写真は本人とは関係ありません

②フルコートゲーム

これが予想通りのガチンコ、更にシニアレフェリー vs スタッフ、ところが意外やオッサン達の食いが下がる事…特に超攻撃的レフトMF、なにせ相手チームからの罵声「ありやドーピング違反じゃねーか!？」くらいの俊足。全速力による20~30メートルのドリブル・オーバーラップ×5~6本、その姿はシニアの誇りでした、古館さん。そしてスペシャルゲスト・プレーヤーの大石委員長のフル参戦。足元タッチの柔らかさとは裏腹なゴールラインへのえぐり、これがレフェリー泣かせのプレーなのか…かくして終始攻め込んでいたシニア・レフェリーチーム、善戦するもカウンターによるワンチャンスに抜け出したスタッフチームによる鮮やかなループシュートにより、日没サドンデスに終止符が打たれました。

谷田 正利

今回で3回目の参加となりましたが、研修前夜はいくつになっても不安になるものです。(シニアなのに、失礼しました!?)3度目の何やらと申しますが、今回こそは問題なく終え、一つでも良い評価を!と思い、初日の会場、フクダ電子スクエアに入りました。U-11の8人制大会。やはり、一人審判の難しさはありますが、視野の確保に必然的に、より運動量が多くなるので改めてこの形式は良いと感じました。

インストラクターのご指導頂きました内容で印象に残っているのは、自分では良いと思っていたポジションが、所謂、串刺しになっている所があるとの指摘。争点の見落としに繋がります。これは早急に改善しますとお伝えしましたが、言うは易し、行うは…。また、初日の試合日程を消化後に予定されていたトレーニングが、急遽いきなりゲームをすることになり、これは嬉しい誤算。私含め、皆さんやはりサッカーが好きというか、ゲームが好きなんだと実感しました。本当に大盛り上がり!!これで宿舎で宴会となれば理想ですが、そうはいきません。夜の研修会の場となる、宿舎(お料理は美味!!)へ向かいました。

恒例の競技規則のテスト。意気込みは満点ですが、結果は…。相変わらずの成長の無さに、気分が滅入ります。その後、貴重な映像を見ながらのグループに分かれて質疑応答は活発な意見が飛び交い、有意義でした。これは、本当にためになると思いました。小生はさておき、皆様の素晴らしいご高話を堪能しました。翌日も秋晴れの晴天。皆様の日頃の行いに感謝(笑)です。割当て頂きましたU-15試合では、主審を臨むにあたり今日のテーマを事前に決めておいて下さいとのご指示に、判定基準を明確にする事を上げさせて頂きました。反省会では良い判定と、やはり見えてなく取っていないファウルがあり、特に手のファウルについては取り切れていないとのご指摘がありました。前述のポジションングの悪さがここでも見受けられました。さらなる、修業が必要と感じた次第です。また、最後にフリーキックの壁に対応する様々な場面を想定した、トレーニングはこの研修会でしか体感できないものでした。これは良かったと感じました。

参加するなら、是非、宿泊がお勧めです。目から鱗が落ちる研修です。最後になりましたが、中間部長、野崎様、はじめスタッフの皆さま、参加者のシニアレフェリーの皆さま、お世話になった全ての皆さま、本当に有難うございました。

往古 薫

松戸市在住の往古です。今年もシニア研修に参加させて頂き、早いもので今回で4回目の参加になりました。今年の研修は昨年と同様で1日目はU-11の8人制1人審判の実技研修で、2日目はU-15の練習試合での研修でした。やはりこの研修の醍醐味は夜の懇親会だと思います、競技規則テストはもちろんありましたが、その後の懇親会は宿泊しないと楽しめないのでは2日間ないと経験出来ません。大石委員長じきじきの楽しいお話があったのとシニア研修らしく場を盛り上げてくれる方が多いので本当に夜は楽しい時間をみなさんと共有出来た事がとてもよかったです。簡単な感想ですが中間様をはじめインストラクターの皆様楽しい研修本当にありがとうございました。

三橋 美津夫

昨年に続き2回目の参加となります。今年も1日目から4種の8人制での1人審判から始まり、スタッフを交えてのゲーム、宿舎に戻ってからの恐怖？の競技規則テスト、オフサイドの映像を使つてのグループディスカッション、2日目は3種の試合の実技研修とその後は色々な場面を想定したフリーキック時の対応のトレーニングと盛り沢山でとても有意義な時間を過ごさせていただきました。その中でも特に印象に残ったのは宿舎での深夜に及ぶ懇親会です。大石委員長を始め育成部スタッフの皆様からの数々の金言をいただきました。大石委員長からはリーグでの秘話、主審の良いポジションとは？等またスタッフの皆様から強い部分だけでなく、弱い部分も含めた体験談を聞かせていただきました。レベルは違うとは言え同じような壁にぶつかりながら今に至っているのだと知りこれからの審判活動にとっても勇気をいただきました。

今回の研修で学んだことを生かせるよう頑張りたいと思います。最後になりましたが情熱を持ってご指導いただきましたスタッフの皆様、また色々とおアドバイスをいただきました研修生の皆様ありがとうございました。

高津 浩司

年に一度のこの研修会に参加するのは今回で何回目だったか記憶に定かではありませんが、毎回内容の濃い研修会を楽しんでいます。また普段インストラクターの方にレフェリングについてアドバイス頂く機会があまり無い私にとって、直接指導を受けられる貴重な研修会になっています。一方シニア研修会ならではの懇親会も楽しみです。参加者は皆楽しい方ばかりで夜遅くまで笑い続けていました。ただ今年は宿泊された方が9人と、ちょっと寂しかったので来年参加される方は是非一泊二日のフルコースで楽しみましょう。

2級昇級がまたうまくいかなかったら、シニア研修会MVPを目指し来年も参加させていただきたいと思います。スタッフの皆様、参加者の皆様、今年もありがとうございました。



新3級研修会

遠藤裕司

千葉県女子サッカーリーグ1部(公式戦)2012年12月16日(日)東京情報大学グランドにて東京情報大学女子サッカー部-clavelina-対ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18の主審を担当しました。インストラクターの呉羽氏に付いて頂き、グランド点検～打ち合わせ～試合終了後の反省会等でご指導を頂きました。

例えば、試合開始時間を数分過ぎてしまい、試合開始時間を定刻通りに始められるように時間管理できなかった事やアフターファウルの見落とし、選手への配慮etc…。今の自分のレベルの未熟さを痛感したレフェリングでした。反省会でご指導頂いた事を忘れずに、これからの審判活動に活かしたいと思います。お世話になったインストラクターの方を始め、大事な試合を提供して下さいましたチームと選手の皆様、ありがとうございました。

川口明男

普段は主に所属している少年チームの帯同審判をしており、4種の審判経験しかありませんでした。この度、研修会で初めて4種以外の審判(副審)をさせて頂きました。当然、ピッチの大きさは約2倍ということで、サポートすべきエリアとヘルプ内容が予想以上にありました。

インストラクターの方にも言われたことなのですが、「主審と副審の協力が不可欠」ということは、一番感じたことでした。今までは、試合前の打ち合わせは、あまり重要に考えていなかったのですが、これからは打ち合わせは綿密に行っていこうと思いました。また、オフサイドのラインキープが遅れ気味である点や、旗を上げるタイミングが遅れがちな件も指摘を受けました。今後、意識レベルを高く保つのと、経験を多く持つことで対応していきたいと思います。

鈴木洋幸

※写真はまったく関係ありません

①服装・時間についての考え方について

- ・つい出来心?でサンダル履きで会場に行った私!
 - ・マネージャーズミーティングに1分遅刻した私達審判団!
- R水間さん、A1渡邊さん、最年長の私が足を引っ張りゴメンナイ。

②試合中のジャッジについて

・指し違い、繰り返し競技規則違反、選手交代時のやりとり等色々反省すべき対応がありました。

でも、レフェリーだけ、アシスタントだけの責任ではなく、審判団の責任であることを学びました。R⇔A1/A2/4thのアイコンタクトを含めたコミュニケーションって体得するまではまだまだ時間が・・・?今の年齢から体得するまでは無理?今までは4種の審判がメインで結構余裕をかましていた私は4級と3級が途轍もなく違う事、自分の不甲斐無さに愕然としました。

インストラクターの稲葉さん、真殿さんありがとうございました。特に私達を担当頂いた真殿さんのご指導内容とルールブックは何度も読みなおしていきたいと思います。最後に、今回の研修会は、3級初歩の私には良い勉強の場になりました。高須賀さんはじめスタッフの皆様感謝申し上げます。ありがとうございました。



佐々木健

私は、市原市で4種のサッカーチームの指導者として日々子供達と切磋琢磨しておりますが、サッカー競技を指導する上で自身の審判としてのスキルアップは必ずや育成にもプラスになるとの思いから3級昇級試験に挑戦し、めでたく昨年12月実施の新3級審判員研修会を受講するに至りました。

研修会は2012年度千葉県女子サッカーリーグ戦の公式戦を審判する実践形式で、インストラクターの皆様が見守る中、第一試合の主審を務めさせて頂きました。試合会場の点検、マネージャーズミーティングから始まり、事前の副審・4th審判の方々との打ち合わせ、実際のゲームコントロールと一連の主審としての役割を担いました。評価を頂きながらの主審ということで、大変緊張致しましたが、実力均衡の1点を争う好ゲームで、攻守の切り替えも早く、非常にタフなゲームとなり、厳しくも集中して楽しく行うことができました。

試合後は、インストラクターの方とマンツーマンで約1時間半程度、一連の内容を振り返りながら木目細かでの的確なご指導を頂きました。自身に足りないもの、認識違いがこれほどまでにあるのかということを感じた瞬間ではありますが、ここでの経験は現在の私にとって本当に有意でかけがえのないものとなっており、この時の事を記したメモのひとつひとつが大きな財産となっています。本研修会に参加させて頂き、本当にありがとうございました。

栗山 知佳子

この度は新3級審判員研修に参加させて頂きましたことお礼申し上げます。

審判員としての活動を始めて数年が経ち、漸くアシスタントレフェリーを楽しみながら出来るようになり、次へのチャレンジとして3級の昇級試験を受けました。県での公式戦レフェリーはほぼ初めてに近いものでしたのでかなり緊張いたしました。試合を終え、これまで自分が如何にレフェリーに依存していたのかを痛切に感じましたし、まだまだ全体を見ることが出来ていないとわかりました。

これまでのように甘えてはいられないと云うこと、責任を持って臨むこと、何よりも選手をリスペクトし、仲間の審判員をリスペクトし、選手が力いっぱい試合を行えるようにしていきたいと思いました。アドバイスいただいた事をひとつひとつクリアしていきたいです。今後ともご指導いただけますようお願い申し上げます。

渡邊 雅敏

昨年の秋に審判員の3級の資格を取得させて頂きましたが、4級との違いが「知識」と「体力」だけではないいな…と漠然とした不安と焦燥感を抱えたまま、4種の審判での経験を積み重ねていました。その時に丁度、千葉県サッカー協会から「実技研修」をして頂けるとの連絡があり、これこそまさしく私が求めていたものであろうと直感しました。

参加させて頂いた研修は、平成24年12月16日(日)に市原スポレクパークで千葉県女子1部リーグの最終戦でした。いつもは小学生相手の審判でしたので、試合展開のスピードと試合時間の長さやフィールドの広さに対し体力的な不安はあったものの、そちらは問題なく終えることができました。私の求めていたのは実技研修後の「反省会」にありました。

インストラクターの方から、試合開始前から試合終了後に至るまで、実にきめ細やかな記録をもとに、丁寧な事象の回想と説明、それに対する的確な指摘、発生したことに対しての適切な誘導など、今までに体験したことのない充実感に満たされました。今回の研修テーマである「3級審判員としての自覚を持ち、審判技術向上を目的とした研修会」と銘打ってあったように、一番胸に響いたのは「自覚」です。

真殿さんより頂いた言葉で、いわゆる「派遣業」としての意識を持つということです。例えば適切でないかもしれませんが、学生から社会人になったときの気持ちに近い感じなのではないでしょうか。「3級審判員」として恥ずかしくない行動、知識、審判技術を身に付け、常に自己研鑽を行い続けることで自らを高めてゆかなくてはならないな…と強く思いました。

あれから数カ月が過ぎました。4種の審判も何度かしました。胸に付ける水色のレフェリーワッペンを見て「3級の方ですわね。」と言われるたびに、照れくさくて嬉しいと思う気持ちと共に、恥ずかしくない立派なジャッジをしようと背筋を伸ばす機会が増えた気がします。今回はこのような研修の機会をいただき、ありがとうございました。

有山 正幸



昨年10月の3級審判試験に合格致しました船橋市在住の有山と申します。12月に新3級審判研修会に参加させて頂き有難うございました。私は中学からサッカーを始め、19歳の頃から審判活動を行ってきました。一時長らく辞めていましたが、子供がサッカーを始めた事がきっかけで、チームの支援の下、審判活動を再開することとなりました。子供の小学校卒業を機に、3級を目指そうと考え昨年10月合格することが出来ました。研修当日は、4種を中心とした活動しかしていなかったため体力面が不安でしたが、何とか1試合をこなすことが出来ました。その後のインストラクターの方による指摘事項が、

大変参考になりました。

ゴールキックはもっとゴールエリアの近くで指す方が良いとか、ゴールキックが自分の頭を通るのではなくヘディングでの接触プレーに備えて早めにポジションを取るべきなど、ともすると独学で覚えてしまうところでしたが、今回指摘していただいた事は今後の審判活動に大いに役立つ事と思います。実際参加して良かったと感じています。有難うございました。実際は時計を新調したことでアディショナルタイムを間違えてしまい、両チームの皆さんにはご迷惑をおかけしました。今後の活動を通して、サッカーというスポーツに携わる全ての人々と有意義な時間を過ごしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

水間 健太

今回の研修では、「主審と副審の協力」というテーマのもと、同じく新しく3級審判員となった方と審判を行い、それをインストラクターの方に見て指導していただきました。その中で強く感じたことは、自分のレフェリング見てもらうことの必要性、重要性です。

普段私は中学校の教員としてサッカー部の指導を行っています。その中で、練習試合や公式試合でレフェリングをすることがありますが、そのレフェリングを見て、指導してもらう機会はほとんどありません。競技規則を読み込んだり、Jの試合をみたりしての自己研鑽は可能ですが、改善の幅が小さく限界があると思います。この研修では、会場への入り時間、入場セレモニーの仕方、レフェリーフラッグの準備、審判団のミーティング事項、サインの出し方、審判報告書の書き方等の試合以外の部分から、キックオフ時のチェックポイント、選手の交代時の笛の鳴らし方、対角線式審判法を基本にしたがらの幅の取り方、争点を近くで見ること・見る角度、シグナルの示し方、副審とのやり取り等の試合に関しての部分まで、理解が曖昧だった部分や知らなかった部分を教えていただき、質問にも答えていただきました。

レフェリング自体には多く改善の余地が残りましたが、今回のようにインストラクターの方に指導していただく機会は本当に貴重でした。研修以降は、研修での指導を意識しながらレフェリングをしています。また、同じような機会があれば積極的に参加したいと考えています。ありがとうございました。

河村 義彦

12月23日の千葉県女子公式リーグ戦の主審を担当することになりました。私の中で一番印象に残っているのが、ゲーム開始前のマネージャーズミーティングでした。4種、3種のほとんどのゲームがスケジュールの都合で、略式化(もしくは省略)していると思います。ただ、本部、審判、両チームの役員を含めた試合関係者が一同に顔を合わせて、事前にゲームにあたっての条件(ユニフォーム、ボールなど)や諸注意を合意しておくことって、関係者全員がリスペクトし合う上で大切ですよね。試合の効率化ばかりでなく、気持ちよくゲームを進める上でも浸透させてほしい文化だと思います。

またジャッジについてですが、今回は「争点から説得力のある位置でみる」を自身のテーマとしてゲームに望みました。自分では意識的に結構寄って見ようとしているつもりだったのですが、インストラクターからは「早く詰めようとしているが、想定したプレーに対しての位置取りが悪い」と指摘を受けました。確かに争点に近づくことばかりを意識して、実際のプレーの流れまで意識せず、結果いい位置で見れていなかった事が多かったように思います。研修会を通じ、自身でもまだまだ足りていない点が多くあることが理解できました。今後も一層経験を積み、いずれは周りから信頼される審判員を目指したいと思います。

☆☆

女子部強化研修

国際主審によるフィールドインスペクション講座

女子部恒例の強化研修会を2月24日に行いました。例年通り寒空の中、4級から2級までの女子審判員が男子中学生の市船招待試合を使用して汗を流してきました。今回は、2名のインストラクターの他に、千葉県が誇る国際審判員の山岸さん・千葉さんも急遽参加していただき、研修生の皆さんもいい顔をして帰って行きました。皆さん、これからの審判生活で色々なことがあると思います。でも、皆さんは一人ではありません。今回参加した皆さんが仲間です。仲間の言葉や自分の言葉を話す・聴く・そして共感してください。そうすることで一つ皆さんが成長できると思います。寒く風の強い花粉の吹き荒れる中、皆さんお疲れ様でした。私もいい思い出になりました！



毎年恒例の

【女性限定！】新規取得講習会の
1コマをご紹介します！

←和気あいあいと、
グループディスカッションにとりかかる様子

☆☆

Congratulations! ～長年に渡りご尽力いただきありがとうございます！～

今後ご活躍を期待致します！！(敬称略)



- 《10年》後藤 克己、袴田 倫、宮崎 真司、徳江 崇
- 《20年》鈴木 和美、曲木 和朗、市川 重一、宮沢 達二、榎本 則夫、萬羽 勉、
高崎 文男、中山 健吾、山西 法一、藤田 盛雄
- 《30年》高山 克彦

***5月11日(土)14時30分より市立千葉高校視聴覚室で表彰式を行います。**

祝福のために参加をご希望の方は、当日会場にお集まり下さい。

◆**郡市協会だより**◆ ～各郡市より毎回ホットな話題を直接お届けします～

【市川市】では、市川市社会人I部リーグ、市川市社会人チャンピオンシップトーナメント、市川・浦安支部中学総合体育大会、市川・浦安支部中学新人大会及び市内小学生(4種)大会(決勝トーナメント)へ審判員を派遣しサッカー発展に努めております。2013年度における、市川市審判委員会の活動予定をお知らせします。

＜取得講習会＞3回開催予定(5月、7月、翌年3月)

＜更新講習会＞ 1)実技講習会:3級審判員、1回開催予定(9月) 4級審判員、6回開催予定(9月～翌年2月)

2)講義講習会:4級審判員、2回開催予定(12月、翌年2月)

＜初心者審判員研修＞2回以上開催予定(5月、7月および随時開催)

＜派遣審判員研修＞4回開催予定(4月、6月、10月、翌年3月)

＜教育リーグ研修＞毎週土・日開催(中学・高校の練習試合使用)

＜審判委員会＞原則毎月第3日曜日開催(18:00～)以上、活動状況です。審判技術向上を希望されている市外からの積極的参加者は、事務局の小出までお願い致します。(市川市サッカー協会審判委員長 東哲也)

【柏市】サッカー協会では、柏市あけぼの山農業公園第1芝生広場の改修工事も終了し、2月3日(土)に柏市長を迎え、オープニング及び柏市サッカー協会とレイソルトORより少年用サッカーゴール贈呈式の式典を行いました。これにより、第1、2芝生広場の2面が天然芝グラウンドとして使用可能となり、今後県予選等多くの大会に使用致します。審判委員会としては、4月よりマスターズリーグの試合を利用して、審判員の技術向上の為、独自の講義・実技講習会を開催致します。(社団法人柏市サッカー協会審判委員長 小杉 益朗)

【袖ヶ浦市】サッカー協会では、毎年4月に第4種(4、5、6年生)の市内大会を使用し、審判講習会を行っています。審判経験のない方や経験の浅い方もベンチや応援席からのクレームは一切なしのアットホーム的な大会ですので、気楽に経験が出来ます。また、6月には3年生の大会を使用し同様に審判講習会を行いますので、初心者で試みに経験したいという方、これから資格取得しようと思っている方で参加したい方は、問い合わせ下さい。参加費無料です。

連絡先は、e-mail :showa-sc@jcom.home.ne.jp 電話:090-5495-4779

(袖ヶ浦市サッカー協会審判委員会 林 一賀)

【野田市】審判委員会では2月3日からの『第32回東葛飾地区サッカー大会』全15試合、2月17日に『第17回野田市少年サッカーフェスティバル・チャレンジカップ』に審判員を派遣し、平成24年度の審判派遣活動を終了しました。平成25度も1種から4種に積極的に審判員派遣を行い、3級審判員の増員を目標に勉強会等を行い、知識及び技術向上に努力していきたいと思っています。(野田市サッカー協会審判委員長 高須賀 清司)

【船橋市】では、年度最後のイベントである、船橋招待(4種)が開催されます。北は北海道から、南は九州までの多数のチームを招き、激戦が繰り広げられました。将来性豊かな子供たちの元気な姿を見られることが楽しみです。

(船橋市サッカー協会審判委員長 柿沼 輝信)



*** 競技規則の改正は、審判委員会HPを参照してください**

*** ボランティア審判員も募集しています！！**

(公社)千葉県サッカー協会 審判委員会HPアドレス

<http://cfa-referee.lolipop.jp/>



●●●ワンポイントレッスン●●●

みなさんの中には腰や膝の痛みを抱える人も多いのでは？湿布やアイシングをしても改善されないのは、日常生活の癖や習慣、仕事などケガ以外に原因がある場合があるので、その筋や周辺の筋を鍛えたり、もしくは緩めたりすることが大事です。ハムストリングスや大腿四頭筋、大腿筋膜腸筋など、大腿部や臀筋などをよくストレッチしてあげることで、腰や膝の痛みが和らぐこともあります。試合の前後、もちろんトレーニング時にもストレッチはしっかりやりましょう！！



～ お詫び ～

レフェリーニュース1月号記事の11ページの記事『ワンポイント・レッスン』に用語の誤りと、解釈の誤りがありましたので、訂正しますとともにお詫びいたします。

① ×センターライン ⇒ ○ハーフウェーライン

② ×ハーフウェーラインのちょうど真ん中でフィールドを分ける＝オフサイドラインはラインの半分である6センチの仮想ラインになる

↓

○ハーフウェーラインは共有する(それぞれのチームの陣内である)ため、逆襲に備えて監視するのは、アシスタントレフェリーを行う方から見て、ハーフウェーラインの右端となります。



広告主さま募集しています。

- ・千葉県内約8千名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
- ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
- ・この枠が1枠の大きさの目安です。

詳細、お申し込みは…(公社)千葉県サッカー協会事務局
(TEL:043-310-4888) にご連絡をお願い致します。

編集後記

この間、新年の挨拶をしたと思ったら、もう4月ですね。新入生・新入社員の皆さま、どんなに小さいことでも体験は人の心を打つそうですよ。そういえば、総務部内にもM君の結婚他、お祝いごとがありました！おめでたいことはいくつあってもいいものです。審判委員会も新年度を迎え、新体制で迎える部もあります。今年度も皆さんの為に、皆さんの踏み台になれるよう、頑張ります！そして私事になりますが、この編集作業をしている最中、友人が亡くなりました。昨年も1人友人を亡くしましたが、やっぱり見送るのは嫌ですね。神様はなんで私じゃなく他の人を連れて行ってしまうのかと思います。皆さん、悔いのない人生を送っていますか？当たり前のようにサッカーに携わり、歩き、走れることほどとても幸せなことなんだと思います。伝えたい時に、会える時に、笑えるうちに、後悔のないように皆さんの今を過ごして下さい。そして、今ある当たり前を大事にして下さいね。(zaco35)

レフェリーニュース編集員

渡邊 芳敏(編集責任者)

伊藤 欽一

大西 正一

菅原 英雄

木川 綾

公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

E-mail : chb-fa@ra2.so-net.ne.jp

E-mail : kinffa@orange.plala.or.jp

E-mail : m.oonishi@kib.biglobe.ne.jp

E-mail : kh3h-sgwr@asahi-net.or.jp

E-mail : girasole@kss.biglobe.ne.jp

<http://cfa-referee.lolipop.jp/>